

雲仙治山だより

発行・連絡先 / 長崎県島原振興局農林水産部林務課

〒855-8501 長崎県島原市城内1-1205 電話 0957-63-5073

令和7年(2025)年

1月発行

(vol.20)

赤松谷本流・極楽谷・炭酸水谷 調査観測結果

～土石流の発生は確認されていません～

令和6年の年間雨量は、雲仙岳で、昨年の約1.4倍となる3,596.5mm、時間最大雨量は、8月29日の76.0mm、連続最大雨量は、梅雨期の6月20日～7月3日にかけて638.5mmを記録し、都度観測の基準である連続雨量280mm以上は4回、時間連続雨量60mm以上は2回を記録しました。

この間、水無川流域の極楽谷・炭酸水谷および赤松谷本流の治山ダムへの土石流の発生及び土砂の異常堆積は、令和6年12月まで確認されませんでした。(写真-1～写真-3)

また、最上流にある7号治山ダムの約1,300m上流の炭酸水谷について11月5日に現地踏査を行いました。一部斜面の崩壊が、確認されたものの、土石流の発生は確認されませんでした。

令和6年12月20日撮影



写真-1: 水無川流域(赤松谷本流・極楽谷・炭酸水谷)全景

極楽谷・炭酸水谷 治山ダムの状況



写真-2：梅雨入り前【令和6年4月1日撮影】



写真-3：【令和6年12月20日撮影】

「雲仙治山だより」 令和7年1月発行(vol.20)にあたって

令和6年7月4日撮影



水無川流域では、雲仙普賢岳の噴火活動による森林の荒廃と火山噴出物による大規模な土石流対策として平成27年9月から、極楽谷と炭酸水谷において治山ダム3基を施工し令和2年3月に竣工しました。

その後、これらの工事によって裸地化した区域の早期緑化を図るため令和3年1月に航空実播を実施し、さらにその効果を高めるため同じ区域に令和4年2月にヘリコプター散布による追肥を実施しました。

これらの治山工事の成果により、緑化が進み平成28年度を最後に、これまでの「雲仙治山だより (vol.1～vol.20)」のとおり、現在まで土石流の発生は確認されませんでした。このため、今後、当「雲仙治山だより」については、定期発行を見合わせることにしました。

しかしながら、溪流には不安定な土砂もあることから、引き続き水無川流域の安全・安心のために、必要に応じて観測を行うとともに、その観測結果については島原市・南島原市と連携しながら、地域防災視察・地元説明会や島原振興局林務課のホームページ等を通じて情報提供に努めてまいります。